

特集3 郵政事業民営化

① 郵政民営化

2003 年

- | | | |
|------|--|---------------------|
| 7. 1 | 特定信書、参戦次々。郵政公社3か月、民間、9月には計11社 | 7. 1 YM1 |
| 7. 8 | 総裁選公約が党公約。中央公論に首相語る。郵政民営化3年で | 7. 9 YM1,4 |
| 7. 9 | 3年内民営化「全く問題ない」。郵政事業で官房長官 | 7. 9 NE2 |
| 7. 9 | 首相の「踏み絵」発言、郵政民営化、再び焦点に。反小泉勢力が反発 | 7.10 NM2 |
| 7. 9 | 「郵政民営化、必ず入れる」。首相「政権公約」で | 7.10 AM4 |
| 7.11 | 郵政事業、「2007年4月民営化」。首相、総裁再選前提に明言 | 7.12 NM5 AM4 |
| | | YM1 |
| 7.16 | 自民総裁選へ論争火ぶた。郵政・道路、局地戦に。首相、対立構図再現へ。反小泉、反論へ
提言練る。デフレ脱却など議論深まらず。首相の2年、総括かすむ | 7.16 NM3 |
| 7.16 | 「思い上がりだ」野中氏猛反発。郵政民営化巡る首相「挑発」発言。法案出ても「認めぬ」 | 7.17 AM4 |
| 7.16 | 郵政公社総裁、民営化論議の評価避ける | 7.17 NM7 |
| 7.20 | (経営の視点)「赤い巨象」郵政公社が攻勢。民間の利「クロネコ」に余裕 | 7.20 NM5 |
| 7.28 | 規制改革会議、郵貯・簡保の民営化要求。重点項目を追加。官製市場見直し。車検期間2倍に | 7.29 AM4 NM1 |
| 7.29 | 「2007年4月に郵政民営化」。首相、総裁選公約に盛り | 7.29 TE1 AE1 |
| | | NE1 |
| 7.29 | 経済同友会代表幹事、総裁選へ幅広い政権公約を求める | 7.30 NM5 |
| 7.29 | 郵政民営化へ政府組織、首相方針。私的懇談会格上げ。設置法案、来年に | 7.30 NM1 |
| 7.29 | 首相政権公約、郵政民営化、道筋触れず。国民の判断材料、乏しく | 7.30 AM2 NM3 |
| 7.31 | 「官業打破、郵政も」。規制改革会議議長・宮内氏、民営化検討に意欲 | 8. 1 AM3,4 |
| 8. 4 | 内閣支持率45%に低下。郵政民営化は56%が賛成。日経新聞世論調査 | 8. 4 NM1,2 |
| 8. 7 | 郵貯の巨額資金「理解しがたい」。竹中金融相、民営化実現に意欲 | 8. 9 AM2 |
| 8. 8 | 「郵政民営化は党内合意を」。自民森派が政権公約 | 8. 9 MM5 |
| 8.12 | 首相の総裁選公約案、郵政2007年度民営化明記。道路公団推進委を尊重 | 8.13 YM1 |
| 8.14 | (「小泉」を問う／構造改革はいま③)郵政民営化／中身示さず政争に。「公社は民営化
への第一歩だ」小泉首相 | 8.14 MM5 |
| 8.20 | 小泉改革を問う③／郵政民営化への道筋を早急につけよ(社説) | 8.20 NM2 |
| 8.20 | 対立陣営でも閣僚起用、首相表明。郵政民営化は来秋結論 | 8.21 NM1 |
| 8.23 | 竹中金融相、郵政民営化実現に意欲 | 8.24 AM6 NM3 |
| 8.27 | 郵政公社「サービス変化なし」85%。民営化支持派は劣勢。民間会社調査 | 8.28 MM3 |
| 8.30 | 首相、総裁再選なら、公・保と郵政民営化確。マニフェスト『与党公約』目指す | 8.31 TM1,2 |
| 9. 2 | 郵政民営化など24項目。規制改革会議、重要事項の素案判明 | 9. 2 NE1 AE1 |
| 9. 6 | 民営化郵便局に役所の出先機能。竹中金融相 | 9. 7 TM3 |
| 9. 8 | 小泉改革、成果・課題は。就任後2年半を点検。経済財政運営、「30兆円枠」見る影なく。
道路公団民営化、「目玉」でも丸投げ・傍観。郵政民営化、郵貯・簡保に踏み込まず。三位
一体改革、数値目標提示は第一歩。年 | 9. 8 AM2 |
| 9. 9 | 「郵貯資金が金融ゆがめる」。郵政民営化の必要性を強調。竹中経財相 | 9. 9 AE2 |
| 9. 9 | 「郵政」「道路」民営化明快に。点検・小泉マニフェスト。「経済」は新味なし。成長率盛ら
ず、束縛を嫌う？予備選や首相公選、党改革の具体策示さず(核心) | 9. 9 TM3 |
| 9.17 | 「郵政民営化は改革に不可欠」。講演で小泉首相 | 9.18 AM3 |
| 9.21 | 郵政民営化を明記。党公約、首相指示 | 9.22 NM1 |
| 9.22 | 「政策前面に対抗できる」民主、菅代表 | 9.23 AM4 |
| 9.22 | 小泉第2次改造内閣／経済改革、問われる成果。社会保障／年金給付下げ課題。金融・産業
再生／竹中氏、銀行収益増迫る。「成果、形に」。道路公団／4公団「分割・民営化」。石
原国交相、総裁後任選り試金石。郵政民 | 9.23 NM5 TM8
AM3 |

2003 年

- 9.23 若返りと改革堅持を優先した小泉人事（社説） 9.23 NM2
- 9.24 郵政民営化、総務相「公約化は反対」。07年4月の実施に難色 9.25 AM1
YM11
- 9.24 郵便局の全国網維持必要と発言。竹中経財・金融相 9.25 AM2
- 9.24 郵政公社、資本金1兆3000億円。4月発足時。過小資本状態浮き彫り 9.25 YM11
- 9.25 （改革どう進める／焦点の閣僚に聞く―上―）麻生太郎総務相／「民営化」信用失うおそれ 9.25 AM4
- 9.25 （改造内閣、閣僚に聞く）竹中経財・金融相／問題先送りの再建許さず。繰り延べ税資産、 9.25 NM3
半年メド結論
- 9.25 （改造内閣、閣僚に聞く）谷垣財務相／消費税上げ、議論は必要。麻生総務相／郵政民営化、 9.25 NM5 YM2
公約化は慎重に
- 9.25 小泉改革、焦点の郵政民営化を聞く。竹中平蔵・金融経財相／「官業の民間開放」の頂点。 9.25 TM6
銀行への公的資金、モラルとの両立難しい。生田正治郵政公社総裁／地方論からも深い議論
を。定期付き終身「簡保版」発売、健全
- 9.25 麻生氏が一転『民営化賛成』、首相に表明 9.25 TE2 NE2
- 9.25 郵政の民営化は必ず公約になる。首相が強調 9.26 AM2
- 9.26 郵政民営化後の経営形態「3案以外も検討」、総務相 9.26 NE2 AE2
- 9.26 （主要閣僚に聞く②）麻生太郎総務相／郵政民営化、来秋に基本方針。「とてもできない」→ 9.26 YM2
一転「一生懸命やる」。補助金削減、複数年で判断。軌道修正、野党批判警戒、事態收拾図る
- 9.26 日本再生へ改革推進。臨時国会召集、首相所信表明。郵政民営化2007年に。2005年、 9.26 NE1,4
法案提出を言明 AE1,4
- 9.26 郵政民営化「商売経験ない考え」。麻生氏『第3の道ある』『希望してない職務…』 9.27 TM2
- 9.26 郵政民営化、来春に中間報告。諮問会議、担当閣僚に竹中氏 9.27 NM1,5
MM2 TM3 AM2
- 9.27 「郵政」「道路」公約に。自民、山崎副総裁が見通し 9.28 MM2
- 9.28 郵政公社、業務拡大より民営化が先決（社説） 9.28 NM2
- 9.28 （時代を読む／加藤寛）竹中路線は「天の時」 9.28 TM3
- 9.28 郵政民営化で「前哨戦」。「定期付き終身保険」めぐり官民「保険戦争」。麻生総務相『競 9.28 TM3
争当然』、竹中金融相『待った』。崩れるすみ分け（核心）
- 9.29 郵政民営化、自民選挙公約に。衆院本会議・首相答弁「改革政党の試金石」 9.30 NM1 TM1
- 9.29 衆院代表質問、構造改革巡り応酬。郵政民営化、菅氏「公約実行できるか」、首相「自民の 9.30 NM2,3,6
変化見せる」。経済運営、景気認識でも対立鮮明 AM1,4 YM3,15
- 9.29 郵政公社、誕生から半年、民営化意識、拡大策急ぐ。批判承知で新商品攻勢「既成事実」狙 9.29 NM3
う。郵貯・簡保、前途厳しく
- 9.29 林財務次官、郵政民営化で財政面から注文 9.30 NM5
- 9.29 「郵貯」「簡保」で民主が改革案。中小企業向け融資に。公社維持か特殊法人化、民営形態 9.30 TM2
とらず
- 9.30 「郵政民営化、党公約に」参院本会議で首相。民主の年金案には否定的 9.30 AE2
- 9.30 （選挙2003衆院選）自民政権公約作り難航？首相、郵政民営化の時期明記方針。党内か 9.30 YM4
ら反発必至。内容、発表時期も綱渡り
- 9.30 郵政公社、発足半年、民営化備え、攻める。事業次々拡大、銀行、生保は反発 9.30 YM11
10. 1 郵政サービス「低下は困る」。民営化で麻生総務相 10. 2 NM5
10. 2 （政策決戦／問われる改革⑦）郵政民営化／「国の関与」見えぬ理念 10. 2 AM11
10. 3 郵政民営化、3事業一体を軸に。議論の方向、麻生総務相が表明 10. 3 TE2 NE2
10. 3 規制改革会議、民営化盛り込まず 10. 4 AM3
10. 3 郵政民営化へ5原則。政府、郵貯・簡保を改革。郵便局網を活用 10. 4 NM1,5
YM11 AM3 MM2
10. 3 郵政2007年民営化明記。マニフェスト、自民が骨格。環境税の創設盛る 10. 4 NM1
10. 3 郵政民営化、探り合い。経財諮問会議、本格論議スタート。「持ち株会社案」総務相、主導 10. 4 TM9
権狙い先手？来秋めど最終報告

2003 年

10. 4 踊らぬ「郵政民営化」。首相「大号令」にも冷淡。道筋示さぬ首相、見えない具体像 10. 4 AM3
10. 4 郵政民営化へ作業チーム。竹中経財相が方針 10. 5 TM3
10. 5 「国債発行への影響を考慮を」。郵政民営化で財務相 10. 6 AM7
10. 6 (インタビュー領空侵犯) 小泉人気に異議あり／京セラ名誉会長・稲盛和夫氏。国民は政策で党を選べ 10. 6 NM5
10. 6 「日本の郵貯は公平競争妨げ」IMF見解 10. 7 NE3
10. 6 自民マニフェスト、郵政民営化表現綱引き。大詰めで調整難航 10. 7 NM1 YM2
10. 6 来年度中に『道州制』試行。自民マニフェスト素案明らかに。郵政民営化は盛り込まず 10. 7 TM1
10. 7 郵政民営化／過小資本の解消不可避。350兆円、巨大マネーどこへ。国債の安定消化も課題 10. 7 AM9
10. 7 郵政事業、規制改革会議も民間開放検討へ 10. 8 AM4
10. 8 自民政権公約、郵政除き了承 10. 8 AE2
10. 8 首相、郵政民営化「マニフェスト明記」、党内反対論にあらためてクギ。『看板』外せば国民不信 10. 9 TM1,2
10. 8 郵政公社新商品の是非巡り“火花”。諮問会議議事要旨 10. 9 NM5
10. 9 郵政民営化、自民「来秋までに結論」、首相了承。政権公約は後退 10.10 AM1 AM2 NM1,2
- 10.10 自民政権公約、経済策など重点7項目。郵政民営化、宣言と詳述に差 10.10 AE1,3 NE1,2
- 10.10 郵政民営化、麻生総務相「世論聞いて判断」 10.10 AE3
- 10.11 衆院選、経済再生、最大の焦点に。脱デフレ、年金、郵政民営化…処方せん示せるか 10.11 YM11
- 10.11 改革進んだ？評価は／点検・小泉内閣2年半。不良債権処理は前進。郵政民営化、あいまいさ。経済界、政策論争を期待、改革速度求める声も 10.11 AM8
- 10.12 郵政公社／これ以上の肥大化は必要ない(社説) 10.12 YM3
- 10.13 郵政民営化、三位一体改革…首相の公約、前途多難。過密日程、閣僚対立、総選挙後の議論、不透明 10.13 YM4
- 10.13 (2003衆院選／政策を語る－1－) 額賀福志郎自民党政調会長／郵政は民営化が前提 10.13 NM2
- 10.13 郵政見直し／どちらも道筋が見えぬ(社説) 10.13 AM2
- 10.14 「民営化は2007年、首相任期は2006年」。菅代表、郵政公約に疑問 10.15 AM4
- 10.15 (記者が診る小泉改革)③道路・郵政／症状、「郵便開放」不発、「不採算路線」でも壁。診断、「玉虫色」連発に終止符を 10.15 TM2
- 10.15 日本郵政公社・生田総裁「郵貯・簡保廃止難しい」「肥大化せず健康体で」。管理部門縮小など発表 10.16 NM5 AM11 YM9
- 10.16 (決戦選択03総選挙)6党公約点検－上－経済政策／財政危機、再建に力点。消費税上げ、大半、明記避ける。郵政・道路改革、具体性薄い与党 10.16 AM4
- 10.17 郵政民営化で作業班を設置。経財相報告 10.18 TM9 NM5
- 10.19 (2003衆院選)郵政改革への道筋に踏み込め(社説) 10.19 YM3
- 10.20 「民間と公平な競争条件を」。郵政民営化で金融庁長官 10.21 NM5
- 10.21 郵政民営化で地域経済配慮。竹中金融・経財相 10.22 TM9 NM4
- 10.23 (日本の選択／郵政改革)民営化vs縮小、論戦空回り。自民・額賀福志郎政調会長、走りながら考える。民主・原口一博政調副会長、まず収支公開から 10.23 MM13
- 10.23 (郵政民営化／浮かぶ争点－上－)民業圧迫／立場有利、事業肥大化も 10.23 NM5
- 10.24 (郵政民営化／浮かぶ争点－中－)国債への影響／市場の激変緩和策、急務 10.24 NM5
- 10.24 政権選択のために／もう総論ではすまない郵政改革(社説) 10.24 NM2
- 10.27 党首討論会(日本記者クラブ主催)、年金が争点、財源で対立。社会保障／菅氏「消費税上げ」。首相「3年は無理」。郵政民営化／首相「サービス改善」。菅氏「自民不一致」 10.28 NM3
- 10.29 郵政分割案も視野。民営化連絡協、財務状況を精査へ 10.30 NM5 YM9
- 10.30 (政治が動く)郵政民営化／具体策なく比較は困難(社説) 10.30 MM5
- 10.31 郵貯・簡保、民営化後の受け皿、「非市場性国債」を検討。財務省 10.31 AM3
11. 3 (くらしが変わる)郵政／自民党、経営形態、踏み込めず。民主党、民営化の中身、玉虫色 11. 3 TM2

2003 年

11. 3 政策論争、年金が軸。首相、郵政。菅氏、高速道。看板テーマ協役に 11. 4 NM2
11. 5 政権公約を読む／民営化／北海道大学教授・宮脇淳氏。郵政／郵貯は財政・金融と絡めよ。 11. 5 AM15
道路／道路行政、全体像を示せ
11. 6 USTRが郵政公社を批判 11. 7 NE2
11. 7 郵政公社来春入社予定総合職55人中、半数近く辞退。郵政民営化論議で将来不安？追加採用はせず 11. 7 TM1 NM7
- 11.11 「郵政」当落に影響なし。民営化公約の実現多難 11.11 AM4
- 11.11 衆院選終了、公約違反に監視の目。財政再建、一層の悪化招く恐れ。年金改革、保険料引き 11.11 TM5
上げ焦点。金融改革、竹中強硬路線鮮明に。道路公団、道路族の巻き返しも。郵政民営化、郵政族落選で弾みか
- 11.12 郵政民営化の「基本理念」素案明らかに。非公務員で郵便局活発に。郵貯・簡保、「税穴埋 11.12 AM3
め」なし
- 11.13 道路・郵政族の影響力低下。有力議員が落選・引退。「民営化」…首相に追い風？ 11.13 YM4
- 11.14 民営化準備？官業肥大？簡保新保険、きょうにも認可。郵政公社、将来像見えず 11.14 AM11
NM7
- 11.14 郵政民営化で論点整理。破たん時の保証焦点。経財諮問会議で示す 11.14 NM7
- 11.14 「2007年郵政民営化」明記。自公合意案まとめ。「年金国庫負担2分の1」も 11.15 YM2
- 11.15 新簡保認可／郵政の民業圧迫が一段と進む（社説） 11.15 YM3
- 11.16 簡保の新商品に異議あり（社説） 11.16 NM2
- 11.17 郵政公社の財務分析／苦しい郵便事業。民営化、収益力向上カギ。ドイツ証券東京支店チー 11.17 YM8
フエコノミスト・水野温氏（けいざい講座）
- 11.18 公的金融、問われる改革／郵政・道路公団民営化論議の死角。将来の国民負担増加も。景気 11.18 AM13
対策のため肥大化
- 11.18 郵政民営化の論点に10項目。竹中経財相が提出 11.19 AM4
- 11.19 郵政民営化など取り組みを指示。初閣議で首相 11.20 NM2
- 11.23 （けいざい読解解説）巨大・郵政、民営化のハードル。「小さ過ぎる」悩み随所に 11.23 NM3
- 11.25 郵政民営化、出足から波乱。論戦が本格スタート、焦点を追う。郵貯・簡保、激しい攻防。 11.25 NM5
縮小・廃止、官は後ろ向き。勝負は来年の参院選後、来秋の最終報告巡り、反対勢力と激突
必至。揺れる民間企業、生保、徹底抗戦
12. 1 民営化とは「政治との決別」。葛西敬之JR東海社長（論点） 12. 1 YM14
- 12.18 2003小泉改革／東洋大学教授・松原聡さん。期待はしたが、中身ある構造改革は小泉首 12.18 ME3
相では無理。政界再編しかない状況だ（今年の「異議あり！」）
- 12.20 全銀協、定額貯金廃止を提言。規模縮小し地域分割 12.20 NM42
- 12.24 郵政民営化で全銀協が提案。地域ごと分割、決済専門銀に。「郵便局の定額貯金廃止を」。 12.25 TM3
三木会長「財投の資金源不要」 AM11 NM3
- 12.25 郵政民営化議論、年明け開始。首相、諮問会議で指示 12.26 NM1
- 12.28 郵政民営化へ公社がチーム。議論本格化に備え 12.28 NM3
- 12.29 自民、郵政民営化で特命委、来月中旬にも発足。参院選控え曲折も 12.29 NM2
- 12.31 2004年、経済財政諮問会議、「郵政改革」控え正念場。主導権を握れるか、首相の対応 12.31 AM2
がカギ

2004 年

1. 3 郵貯、簡保は地域分割。郵政民営化、政府案骨格固まる。公社、持ち株会社に 1. 4 YM1
1. 5 郵政民営化の春の中間報告、複数の選択肢。内閣府次官 1. 6 NM5
1. 5 首相年頭会見、自衛隊派遣「対策万全」、郵政「改革の本丸」 1. 5 AE1
NE1,2
1. 5 内政は「郵政」一枚看板。首相「持ち駒」少なく 1. 6 NM2
1. 6 総務相、郵貯分割を批判 1. 7 AM10
1. 7 先達の「ドイツポスト」、郵政民営化、知恵貸します。金融相にノウハウ“伝授” 1. 8 TM8

2004 年

1. 9 郵政民営化、月末から本格論議。収益力強化でジレンマ。民業圧迫懸念、拡大も 1. 9 NN5
- 1.11 自衛隊派遣に意義。郵政民営化へ決意。施政方針骨格固まる 1.12 TM2
- 1.12 動き出す「本丸」郵政改革。首相「最後の砦」本格論議へ。参院選前、足元で牽制も 1.12 AM2
- 1.13 郵貯、簡保の縮小・廃止を。3事業民営化で経済同友会が提言発表 1.14 TM9 NM5
- 1.14 問われる諮問会議。郵政民営化、議論再開。自民内に強い反発。郵貯・簡保の分割焦点に 1.14 MM5
- 1.14 (04政治課題を聞くー3ー) 神奈川県知事・松沢成文氏。郵政民営化／「道路」の二の舞い危惧 1.14 NM2
- 1.15 自民の郵政事業懇、会長に綿貫氏内定。民営化には批判的 1.16 NM2
- 1.15 首相、参院選で民営化「異論ダメ」。郵政出身候補予定者に 1.16 TM2
- 1.16 どうなる郵便局／“先輩”ドイツでは…大赤字→黒字化。サービス多様に。雑貨店やスーパー委託、『引っ越し手続き全部』。地方の利便性向上は疑問 1.16 TM8
- 1.19 郵政民営化、議論本格化へ。参院選にらみ駆け引き。政府、諮問会議通じ具体像。自民、中間報告は論点整理 1.19 NM2
- 1.19 郵政民営化、3つの壁。財政／国債運用、どこまで。金融／全銀協、圧迫を警戒。政治／郵便局網、どう維持 1.19 AM2
- 1.19 「国際協調」の意義訴え、「イラク支援」前面に。郵政は「改革の本丸」。国会召集、首相が施政方針演説。「改革の成果」自賛 1.19 AE1,4 NE1
- 1.19 郵政民営化、曲折は必至。巨額運用、収益見通し…。議論再開、イラク、参院選も影落とす 1.20 YM2
- 1.20 首相、施政方針演説、マニフェスト後退。郵政民営化、具体策触れず…公務員改革、提出時期なし。最重要課題は復興支援 1.20 TM2
- 1.20 郵政民営化へ特命委を新設。自民 1.20 AE2
- 1.21 「情報通信省」ハードル高く。総務省や経産省反発。郵政民営化も絡む 1.21 NM2
- 1.22 (改革と対立を超えてー1ー) 政府と市場、適切な補完を。効率万能ではない。「公正」の観点から介入。佐和隆光京都大学教授 1.22 NM31
- 1.23 郵政論議、来月に先送り。諮問会議 1.24 NM2
- 1.23 日本通運、郵便参入へ。「特定信書」全国配達。総務省許可方針 1.24 AM3
- 1.24 (点検・郵政公社／民営化論議を前にー下ー) 特典多い郵貯・簡保。「巨体」が阻む採算確保 1.24 NM5
- 1.25 特定信書便、日通が参入へ 1.25 YM10
- 1.28 郵貯、限度額破り許さず。1000万円超過分で国債購入、年度内に強制措置 1.28 TM1,9 AM4 NM1
- 1.29 郵政特命委が初会合 1.29 NE2
- 1.29 郵政改革議論、波乱含み。自民特命委、60人参加し初会合。民営化には触れず 1.30 NM3 AM4 TM9 NM5
- 1.30 郵政民営化中間報告、具体的過ぎると円滑に進まない。総務相が懸念表明 1.31 NM5
2. 1 (NEWSな数字) 1万8900局／特定郵便局の数(2003年末)。民営化論議で争点に 2. 1 NM15
2. 3 「雇用合理化避けられず」。郵政民営化全銀協討論会。収益力確保が課題。郵貯・簡保、縮小・廃止で一致 2. 4 NM7
2. 4 郵政民営化、市場は？収益は？350兆円、官から民へ。金融機能／定額貯金に存廃の両論。資金量／規模巡りさや当て。公的支援／全国網の維持、改革求める声 2. 4 AM9
2. 5 (どうする民営化／私の郵政改革論①) 経済財政諮問会議民間議員・大阪大学教授・本間正明氏。金の流れ、官から民へ 2. 5 AM8
2. 6 (綱渡り国債管理政策ー中ー) 郵政民営化の脅威／受け皿機能、縮む公算 2. 6 NM5
2. 7 (どうする民営化／私の郵政改革論③) 前総務相・片山虎之助氏／郵便局網の維持は必須 2. 7 AM11
- 2.10 (どうする民営化／私の郵政改革論④) 地域・中小へ資金回せ。元ゴールドマン・サックス投信社長・山崎養世氏 2.10 AM8
- 2.10 出よ「第2の猪瀬氏」。郵政民営化へ「首相直轄チーム」。設置で抵抗封じ民間人起用検討 2.11 TM2
- 2.11 (郵政民営化の論点ー1ー) 郵便局／慶大教授・吉野直行氏。民間商品の販売窓口 2.11 NM5
- 2.12 (郵政民営化の論点ー2ー) 国債消化／北大教授・宮脇淳氏。代替受け皿整備不可欠 2.12 NM3
- 2.12 個人国債を多様化。市場懇「郵政民営化の受け皿」 2.13 NM5

2004 年

2.13	(郵政民営化の論点ー 3ー) ネットワーク／慶大教授・池尾和人氏。都市部での統廃合必要	2.13	NM5
2.13	郵政民営化論議 17 日再開	2.13	NE2
2.13	郵政民営化、法案化、内閣官房で。首相方針、総務省に任せず	2.14	YM1
2.14	(郵政民営化の論点ー 4ー) 職員の雇用／千葉商科大学学長・加藤寛氏。新サービス拡充し吸収	2.14	NM5
2.17	財投改革、速度がカギ。郵政民営化で財源縮小	2.17	AM9
2.17	(郵政民営化の論点ー 5ー) 政府保証資金／日本総研主席研究員・翁百合氏。切り離して国の管理に	2.17	NM5
2.17	郵政民営化／具体化へ民間提言も参考になる(社説)	2.17	YM3
2.17	カギ握る首相の指導力。郵政民営化、論議本格化。郵貯縮小に包囲網。副作用どう抑える。売却益も皮算用?	2.17	NM9
2.17	郵政民営化議論再開。公社総裁、郵便局網の維持、強調。「特定局」扱い焦点。郵貯・簡保の縮小、不透明	2.18	YM9
2.17	郵政民営化、郵便など自立が必要。経済財政諮問会議、本格論議スタート	2.18	TM1,9 NM3
2.17	郵政民営化内容「参院選の前に」。同友会代表幹事	2.18	NM5
2.17	郵便局ネット、自立事業に。経財会議、民営化へ活用策探る	2.18	AM2
2.17	郵政民営化へ知恵結集。連絡協引つ張る有識者 4 委員。宮脇淳・北大教授、国債の消化、考慮も必要。奥山章雄・会計士協会会長、民間会計へ移行検討。吉野直行・慶大教授、資金の流れ官から民へ。翁百合・日本総研主席	2.18	NE5
2.18	首相は何のための郵政民営化かを語れ(社説)	2.18	NM2
2.18	郵政公社総裁、郵便局網見直し初言及。全国一律サービスは維持	2.19	TM3 NM5
2.19	郵政民営化、具体案は参院選後に。政府・自民、春の報告、論点整理のみ	2.20	AM2
2.20	省庁幹部の 1 割交流。首相指示。「郵政」控え、霞が関に波紋	2.21	MM2 AM2
2.20	郵貯 10 年後は 35%減。資金量 150 兆円規模に。総裁見通し	2.21	TM9
2.23	郵政事業民営化、独禁法抵触せず。内閣府連絡協が確認	2.24	NM7
2.24	郵便貯金、「1000 万の限度額撤廃、当然」麻生総務相。民営化で見直し	2.24	YE2
2.24	郵政改革、額賀氏「白紙で議論」	2.25	AM4
2.24	総務相、郵政民営化、小口企業融資を提案。郵貯・簡保の資金活用	2.25	NM7 AM8
2.25	郵政民営化、首相「4 月末に論点整理」。時期明示し論議促す	2.26	NM2 MM5
2.27	(三者三論／どうする郵政民営化) 竹中平蔵氏(経済財政相)、窓口機能の潜在力生かせ。麻生太郎氏(総務相)、分権時代に即した改革を。生田正治氏(郵政公社総裁)、貯金・保険は国民ニーズ	2.27	AM15
2.28	郵政民営化、実現なら 100 点以上。「失敗想像できぬ」。首相、自信満々	2.29	NM2
3. 1	財政諮問会議郵政中間報告、論点整理どまりに	3. 2	MM5
3. 2	郵政改革担当相を新設、首相意向。参院選後を念頭に	3. 2	ME1 TE2 NE1
3. 2	首相、突然の「郵政改革担当相」発言、民営化の主導権狙う。「参院選後の改造」期待の声。党内求心力アップ図る	3. 3	AM4 NM2
3. 2	郵便局網の維持、過疎地域は必要。民営化連絡協	3. 3	NM7
3. 2	郵政改革相構想、民営化断行へ“首相直轄”。族議員は反発	3. 3	YM4
3. 2	郵政改革相設置構想、郵貯・簡保「分割」強まる?総務省の発言力低下も	3. 3	YM11
3. 3	「2017 年までに完全民営化を」。郵政問題、経済同友会が提言	3. 4	YM2 TM9
3. 5	増え続ける政府保証。道路・郵貯「市場ゆがめる」。バブル後に 75%増。将来の国民負担に懸念	3. 5	AM11
3. 5	郵政担当相新設に総務相不快感	3. 5	YE2
3. 6	郵便局のコンビニ化検討。内閣府、販売品目の規制緩和案。民業圧迫回避、組織形態カギ	3. 6	NM5
3. 6	(ポイント郵政民営化) ネットワーク／効率とサービスどう両立	3. 6	YM11
3. 8	ユニーに郵便ポスト設置	3. 9	NM7

2004 年

3. 8 郵便局投信販売法案、今国会への提出断念。金融庁と調整つかず 3. 9 AM11
3. 9 (ポイント郵政民営化) 郵便事業／独占、拡大はどこまで? 3. 9 YM11
3. 9 投信販売法案、今国会見送り 3. 9 NE3 AE2
- 3.10 郵政公社／“駆け込み肥大”の見送りは当然(社説) 3.10 YM3
- 3.10 (ポイント郵政民営化) 郵便貯金／民業圧迫どう解消 3.10 YM9
- 3.11 郵便局の全国一律サービス、民営化後も維持方針。経財諮問会議、方針決める 3.12 AM4 NM7
- 3.11 郵便局、コンビニ業務も。民営化、窓口サービス自由化。諮問会議方針 3.12 TM3
- 3.14 「首相の改革イメージも大事…」自民、抵抗やんわりと。三位一体／「族」勢力争い。郵政民営化／議論は「牛歩」 3.14 NM2
- 3.15 郵政民営化、総務省が窓口一本化。調整室新設、主導権確保へ思惑? 3.16 MM5
- 3.15 郵政改革、自民「国債管理」前面に。特命委員会合、完全民営化阻止へ先手 3.16 NM2
- 3.16 (ポイント郵政民営化) 3事業／一体維持か分離か 3.16 YM11
- 3.16 郵政完全民営化、首相「段階的に」。2007年以降も国の関与 3.17 AM2
- 3.16 郵政民営化、雇用問題、10年で対応。経済財政諮問会議、最大配慮を再確認 3.17 NM7
- 3.17 (ポイント郵政民営化) 地域分割／「適正な規模」どう実現 3.17 YM9
- 3.17 首相、郵政民営化、改めて意欲 3.18 YM4 AM4
- 3.19 (ポイント郵政民営化) 特定郵便局／経営合理化に政治の壁 3.19 YM13
- 3.20 郵政民営化、貯金保護、民間並みに。預金保険料を徴収。内閣府原案明らかに 3.20 NM1,4
- 3.22 郵政民営化に備え、50人規模で準備室。政府 3.22 NM2
- 3.22 郵政民営化へ準備事務局、来月設置。首相、「既定路線化」狙い 3.23 NM5
- 3.23 (論陣論客) 民営化後の郵政事業／村井仁さん・自民衆院議員、組織の形態、事業展開次第。宮脇淳さん・北大教授、地域間競争できる環境に 3.23 YM10,11
- 3.23 郵貯・簡保、民営化後、政府保証なし。諮問会議方針。移行前の分は保護 3.23 YM2
- 3.23 郵貯・簡保で小競り合い。首相vs自民、本格対決持ち越し。「参院選後」にらむ 3.24 NM2
- 3.23 郵貯・簡保競争条件、民間と同一に。政府保証を廃し。諮問会議一致 3.24 NM1 MM2
- 3.23 郵政民営化論議、「組織・雇用」先送り。3事業の将来像みえず 3.24 TM1 AM2
- 3.24 新会社、見えぬ具体像。郵政民営化議論、一巡。既定路線だ!「主導」強調の首相。参院選控え自民に配慮も。郵貯・簡保、政府保証廃止で資金減? 国債安定消化に課題(スキャナー) 3.24 NM3
- 3.24 「郵政改革の趣旨は財政正常化」を明確に(社説) 3.24 NM2
- 3.25 郵政事業改革／民営化後の姿見えてこない(社説) 3.25 MM5
- 3.26 郵政民営化法案準備室、室長に渡辺前農水次官 3.27 NM2
- 3.26 郵政準備室、首相、「器」作りを先行。民営化の具体策乏しく 3.27 TM2,9
- 3.28 郵政公社発足から1年、2007年民営化へ正念場。郵便事業は黒字に転換、郵貯・簡保は右肩上がり 3.27 AM2
- 3.30 郵政民営化、かすむ具体像。「正面衝突」回避を優先。資金量も決まらず 3.28 MM7
- 3.30 (官と民のはざまで／郵政公社の1年ー1ー) 阻まれる「膨張」／「国営」自立へ足かせ。国内外、弱まる競争力 3.30 AM4
- 3.30 (郵便局が変わる／「民営化」の行方ー1ー) 特定局長／票の“大樹”切れますか? 3.30 AM11
- 3.30 郵政改革、来月26日、準備室設置。小泉首相、中間報告も。政権3周年、区切りに 3.30 TM1
- 3.30 郵政民営化、簡保民間売却に竹中氏が難色。塩川前財務相らとの懇談で 3.31 MM1
- 3.31 (郵便局が変わる／民営化の行方ー2ー) 定額貯金が消える日／“特典”失い、マネーどこへ? 3.31 NM7
4. 1 郵政公社が貯蓄相談を廃止。民営化路線で業務縮小。全国56カ所、無料の窓口。魅力だったFPの中立性、消費者には大きな痛手 3.31 TM8
4. 2 首相「官邸主導」一直線。参院選意識、官僚封じ。郵政民営化準備室設置。防衛大綱で諮問機関。高級官僚の天下り規制 4. 1 TM11
4. 2 (官と民のはざまで／郵政公社の1年ー4ー) 松原聡東洋大教授、総裁も民営化明言せよ。村井仁自民党郵政改革特命委員長、議員軸に国民的論議を 4. 2 TM1
4. 2 4. 2 AM11

2004 年

4. 2 郵便・郵貯分離には反対。郵政民営化で先行するドイツポスト・ロルフ・ビュットナー労組代表 4. 3 NM5
4. 3 (官と民のはざままで／郵政公社の1年―番外編―)「お手本」ドイツポスト／民営化、サービス工夫。委託局に切り替え。給与は成果主義。 4. 3 AM10
4. 5 郵政民営化、準備室に民間人登用。首相方針、「参与会議」も設置 4. 6 YM1
4. 5 資本強化に17兆円必要。郵政公社、民営化後新会社で試算 4. 6 TM3
4. 6 公社、2年目の試練／郵政民営化、雇用に難題。郵便事業で反攻、職員28万人の重圧。郵貯・簡保、薄れる役割、魅力も資金も先細り。諮問会議報告素案、全国均一サービス維持 4. 6 NM5
4. 6 出向民間人の給与水準保証。郵政民営化法案準備室で政府方針 4. 6 NM5
4. 6 郵政公社投資、自由化へ。政府検討、民営化前に競争力 4. 6 AE2
4. 6 郵政民営化中間報告素案、住宅、企業融資も可能。段階的に業務自由化 4. 7 TM1,11
4. 6 郵政民営化準備室の次長に、高木金融庁長官。諮問会議委も新設 4. 7 AM2
4. 6 郵政民営化、移行期間「約10年」。諮問会議の中間案判明 4. 7 AM2
4. 7 (郵政公社・民営化の設計図―上―)総合消費者サービス業に。ナローバンクが柱。2017年までに完全自由化を。田村達也グローバル経営研究所代表(経済教室) 4. 7 NM29
4. 7 郵政、10年かけ段階民営化。諮問会議が中間報告案。郵貯・簡保、縮小狙う。組織・雇用論議は先送り。郵便局をコンビニ化。払い戻し保証、民間並み。肥大化の懸念は残る 4. 8 NM3,5
YM11 TM1,7
4. 7 経済財政諮問会議、郵政民営化、中間報告の素案了承。郵貯・簡保、規模見えず 4. 8 AM2
4. 7 郵政民営化への法案、官民で作成。首相、自民の影響排除。「道路公団」の反省踏まえ 4. 8 NM2
4. 8 (郵政公社・民営化の設計図―中―)政府系金融も同時改革。郵貯と一体で分割。財政再建とも密接に関係。松原聡東洋大学教授(経済教室) 4. 8 NM29
4. 9 郵政民営化／雲行きがおかしくなってきた(社説) 4. 9 MM5
4. 9 (郵政公社・民営化の設計図―下―)郵貯、10年後に地域分割。リスクの分散必要。M&Aで経営基盤固めも。大田和哲也・21世紀政策研主任研究員(経済教室) 4. 9 NM29
- 4.10 郵貯見直し、「地域金融との共存課題」。竹中経財相、規模など配慮 4.11 NM5
- 4.10 郵政民営化／看板政策の具体像が見えない(社説) 4.10 ym3
- 4.12 郵貯・簡保縮小、溝埋まらず。諮問会議議事要旨明らかに。民間議員、巨大資金の分離検討。生田総裁、事業継続へ一括移管 4.13 NM5 TM8
- 4.12 郵政「準備室」、高木氏も次長起用。当面、金融庁長官と兼務 4.13 TM8
- 4.12 民営化準備室も「非公務員型に」。田中直毅氏が郵政事業に“苦言” 4.13 MM9
- 4.14 郵政民営化／何のためかを忘れずに(社説) 4.14 AM3
- 4.15 (郵便局はどう変わる？インタビュー編―上―)竹中金融・経財相に聞く／「民営化で国民負担減る」。サービス広がる利点も 4.15 TM9
- 4.15 2016年度までに郵政新会社上場。竹中金融相 4.15 TM1
- 4.16 (郵便局はどう変わる？／インタビュー編―中―)日本総研主席研究員・翁百合氏に聞く／「郵貯の政府保証はずせ」。大きなネットワーク活用を 4.16 TM9
- 4.16 郵政民営化準備室、局長級に中城氏 4.16 NE2
- 4.16 「役割終えた」。簡保縮小訴え生保協会長 4.17 NM7
- 4.17 (郵便局はどう変わる？インタビュー編―下―)郵政公社・生田正治総裁に聞く／「利便性維持に3事業必要」。局の配置、都市部で重複感 4.17 TM9
- 4.19 (ワールドインサイド)民業／NZ郵貯、圧迫批判。2001年再国営化。新ローン扱い独占 4.19 YM7
- 4.19 郵政民営化、準備室副室長に鍋倉・高木氏 4.19 AE2
- 4.19 郵政民営化、首相肝いり重厚布陣。準備室正副室長、次官級3氏 4.20 YM4 AM2
- 4.19 銀行・郵貯の共存難題。自民郵政特命委で意見聴取。全銀協「規模縮小を」。党側「ご都合主義だ」 4.20 NM5
- 4.19 郵政民営化、職員の雇用に配慮。諮問会議、中間報告の最終原案 4.20 NM5
- 4.19 郵政民営化「ナローバンクで」。全銀協会長、「通常貯金中心」を主張 4.20 AM11
- 4.19 郵政民営化準備室、日銀・物流企業も参加。20人規模で発足 4.20 NM5
- 4.20 高木長官、異例の「副室長」兼務。郵政民営化、透ける竹中シナリオ(底流) 4.20 NM5 MM5

2004 年

- 4.20 民営化中間報告案明らかに。郵政3事業は独立会計。安定経営重視。職員雇用に配慮 4.20 YE1,2
- 4.21 郵政中間報告案、諮問会議が了承。郵政民営化「5－10年で」。郵貯の政府保証、2007 4.22 MM3
年当初に廃止。「組織」議論先送り。「最終形」へ課題山積み TM13 YM3 NM5
AM3,12
- 4.21 首相の「看板」、郵政民営化準備室、26日に新設へ 4.22 AM4 TM3
- 4.22 民営化で変わるか郵便局。「コンビニエ」全国に？世界にもない品揃え可能。住宅ローンも 4.22 TM9
がん保険も
- 4.22 経財諮問会議で大筋了承された郵政民営化案「丸のみできぬ」。総務省次官 4.23 NM7
- 4.23 郵政民営化準備室、4分野ごと専任チーム。省庁局長級を起用。総務省・公社出身者、全体 4.23 AM4 YM4
の半数以下に
- 4.23 全通と全郵政、郵政民営化で協議会設置へ 4.24 YM13
- 4.26 郵政改革、郵貯など政府保証廃止。民営化、5－10年で。諮問会議中間報告決定。組織・ 4.27 NM1,3,7
雇用問題は先送り TM8 AM1
- 4.26 郵政民営化「抵抗勢力の本丸壊す」。首相、準備室発足で訓示 4.26 NE1 TE2
- 4.26 郵政改革、焦点先送り。「民営化」中間報告まとまる。タンス代わり／金融「全国一律」な 4.27 AM2
お検討。コンビニ化／郵便局網、効率化に課題。「黒船」効果／地域金融、圧迫の恐れも
- 4.26 郵政民営化中間報告／「改革の本丸」攻略多難。首相「攻め始まる」。財投・特殊法人も視 4.27 NM3
野。郵貯肥大化、残る懸念
- 4.26 首相・総務相が激論。郵政の一律サービス維持、思惑の違い鮮明に 4.27 NM7
- 4.26 郵便局の未来、コンビニ化？民営化中間報告決定。日用品・保険販売、住民票交付…。定額 4.27 YM9
貯金見直しも
- 4.26 地方での懇談会、5、6月に開催。郵政民営化で竹中経財金融相明らかに 4.27 AM2
- 4.27 （郵政改革、原点を問う一上）日本を危機から救うために（社説） 4.27 NM2
- 4.27 郵政民営化／改革の狙いが不鮮明な中間報告（社説） 4.27 YM3
- 4.27 郵政改革／みんなにいい顔はだめ（社説） 4.27 AM3
- 4.27 郵政民営化、自民部会が反対確認。「公社改革」独自案作成へ 4.28 TM2
- 4.28 （小泉政権3年）構造改革／本丸は財政再建のはずだ（社説） 4.28 MM5
- 4.28 （ニュースなるほど）動き出した郵政民営化。選挙と「国債」に配慮にじむ。編集委員・藤 4.28 NE3
井良広）
- 4.28 （郵政改革、原点を問う一中）郵貯・簡保を政官の手から完全に離せ（社説） 4.28 NM2
- 4.29 （郵政改革、原点を問う一下）「全国一律」維持では民営化は不可能だ（社説） 4.29 NM2
- 4.30 雇用・郵便網維持、新事業欠かせぬ。総務相が認識 5. 1 NE2
5. 2 郵貯・簡保めぐり激論。大幅スリム化か、事業規模温存か。改革の本丸、基本部門詰まらず。 5. 2 YM9
点検・郵政民営化中間報告
5. 3 「日本型社会主義」終わりの日。郵政改革が変える国柄。論説主幹・岡部直明（核心） 5. 3 NM5
5. 4 独経済労働相と郵政改革を協議、麻生総務相 5. 5 NM3
5. 7 郵政民営化、「分割は無駄」。総務相が見解 5. 8 AM9 MM3
5. 8 郵政民営化、商社マンに白羽の矢。準備室に三菱商事の若手。国際物流のノウハウ学ぶ 5. 8 AE2
5. 8 郵政民営化7割が慎重。利便性低下を懸念。世論調査 5. 9 TM1
- 5.10 郵政民営化／改革の具体像提示、急げ。松原聡東洋大教授 5.10 YM12
- 5.13 郵政民営化準備室に助言する「有識者会議」、初会合 5.14 NM2
- 5.17 （私の苦笑い）千葉商科大学学長・加藤寛氏／臨調、電電公社の地域分割先送り、「改革派」 5.17 NM17
にも目を配れ
- 5.17 郵政民営化で5330億円納税。公社試算。財政再建の財源に 5.18 TM3
- 5.17 特定郵便局長会長、民営化に反対表明 5.18 MM9
- 5.18 （論陣・論客／郵政民営化）生田正治氏・日本郵政公社総裁、他の改革見て効果的に。竹中 5.18 YM12,13
平蔵・経財金融相、国民ニーズ見極め必要
- 5.19 （なるほど経済）郵政民営化後の全国均一サービス／郵貯・簡保への適用どうなる？銀行・ 5.19 YM11
生保は反対姿勢。ドイツでは「郵便」が「郵貯」を子会社化、実質全国で取り扱い

2004 年

5.19	郵政基本法2005年制定。民営化「骨格中の骨格」。政府方針	5.20 YM2 MM3
5.19	郵政民営化準備室、70人程度に増員へ	5.20 NM2
5.23	郵便局、過疎地廃止に懸念。初の郵政民営化懇談会	5.24 NM4 YM9 AM6
5.23	特定郵便局長会、民営化反対声明を採択	5.24 NM4 AM6 TM3
5.24	郵政民営化NO！自民、労組とタッグ。「選挙も応援を」	5.25 TM3
5.25	巨艦・郵政、際立つ「非効率」。3事業／競合企業に見劣り、利益水準、郵便はヤマトの半分。財務基盤／資本比率、大手銀と格差。経費削減／ファミリー企業抜本見直し必要。民営化への課題浮き彫り	5.26 NM3 YM9
5.25	郵政民営化「外堀埋めて」その後「攻撃」。国鉄改革・加藤寛氏、成功のプロセス披露	5.26 MM9
5.27	郵政2兆円黒字／民営化とは何かが曖昧だ（社説）	5.27 MM5
5.28	郵政民営化、全国均一サービス維持を強調。生田郵政公社総裁、読売国際経済懇話会で講演	5.29 YM1
5.30	（時代を読む）加藤寛／郵政民営化は地方再生のため	5.30 TM3
5.31	郵政民営化、「抵抗」再燃。自民、参院選を意識？部会が修正要求／特命委は「時間稼ぎ」	6. 1 NM2
6. 1	郵政民営化準備室、70人規模へ大増員	6. 2 TM3
6. 2	郵政民営化法案の提出、自民、公約に盛り込まず。参院選で方針	6. 3 TM1
6. 4	経済・財政運営の基本方針「骨太方針2004」、閣議で決定	6. 4 NE2 AE2
6. 5	竹中経財相、「信書便法見直し検討も」。郵政民営化、重量区分け視野に	6. 6 TM3
6. 5	郵便局網は過疎地も維持。竹中経財相	6. 6 NM3
6. 6	郵便局のコンビニ化構想、「全国一律」には力不足。総務相表明	6. 7 NM3
6. 7	郵政意見集約は参院選後。自民党	6. 8 NM2
6. 8	地域再生へ資金制度。自民、参院選公約に明記。「郵政改革」踏み込まず	6. 9 NM2 MM5
6.10	首相「9月に内閣改造」。郵政担当相を新設	6.11 AE1
6.12	郵政民営化準備室、敵に塩を請う？競合企業から要員起用へ。首相「ヤマト運輸を入れろ」	6.12 TE1
6.14	郵政民営化、9月最終報告。諮問会議方針	6.15 YM4
6.16	「再編で企業価値向上」。郵政民営化有識者会議、NTTなどから聴取	6.17 AM11
6.19	独ポスト「郵貯」上場23日に延期	6.20 NM5
6.20	郵政民営化／「9月成案」へ作業加速。選挙戦、動けぬ党、首相、着々と先手	6.20 NM2
6.22	郵便事業、民営化後も国関与。一定以上の出資を検討	6.22 TE2
6.23	郵貯批判に財務省反論。「全銀協の推計大げさ」	6.24 YM11
6.23	郵政民営化「資金、民間シフトを」。三井住友頭取、規模維持を批判	6.24 NM7
6.23	財務省研究会報告書まとめ「郵貯の政府保証廃止に」。国債安定消化狙う	6.24 MM9
6.23	独郵貯「ポストバンク」上場。ライバル行、買収に関心。小口金融の再編も	6.24 NM9
6.24	参院選挙公示、郵政・財政…改革を左右。財政、歳出抑制路線続く。郵政民営化、組織具体像、焦点に。社会保障、負担・給付の均衡課題	6.25 NM5
6.25	郵政民営化準備室83人に拡充。4機能担当の審議官新設	6.25 NE2
6.27	郵政民営化案、9月決定、首相表明。内閣改造時、協力求める。	6.28 YM2 TM2
6.30	（検証マニフェスト）民営化／宮脇淳氏・北大教授。内からの機運低い郵政。道路行政は全体議論を	6.30 AM4
6.30	郵政民営化準備室、5グループで民営化作業	7. 1 NM2

② 郵政公社

2003 年

7. 1	特定信書、参戦次々。郵政公社3か月、民間、9月には計11社	7. 1 YM1
7. 4	コール市場、郵政公社、来月にも参入。郵貯・簡保資金運用、最大2、3兆円	7. 5 NM4
7. 9	郵便事業、赤字225億円。2002年度、郵便物の取り扱い低迷	7.10 NM7 AM3

2003 年

7.11	電子メール普及、民間と競争激化。郵政事業2年ぶり赤字	7.12	AM13
7.11	含み損9兆円余に拡大。2002年度末、郵貯・簡保資金の信託	7.11	AE2
7.13	スタート100日、郵政公社、出足は苦戦。簡保落ち込み深刻。利益目標達成に黄信号	7.13	NM3
7.14	郵政公社、郵便物運送入札、価格重視に変更	7.15	NM7
7.15	幹部候補の部長、郵便局長に転出。郵政公社、異例の人事	7.16	AM10
7.16	郵政公社総裁、民営化論議の評価避ける	7.17	NM7
7.17	簡保団体4億円所得隠し。加入者協会、還元せず流用。飲食費、内部留保も	7.17	AM39
			YM39
7.17	郵貯の委託運用利回りマイナス。昨年度5.95%	7.18	NM7
			AM11
7.20	(経営の視点)「赤い巨象」郵政公社が攻勢。民間の利「クロネコ」に余裕	7.20	NM5
7.21	金融庁、政府系金融を検査。郵政公社含め来月下旬にも。民間並み基準適用	7.21	NM1
7.23	郵便局、投信を来春販売。主要50局。低リスク商品中心。銀行と競合、民業圧迫も	7.23	NM1
7.28	年金保険料、郵政公社に徴収委託。来年度、納付率上昇目指す	7.29	TM3
7.30	宅配便に対抗、小包30キロOK。郵政公社、10月から	7.30	AM3
7.31	288倍、55人突破。郵政公社初の総合職採用	7.31	TE2
7.31	初の独自採用、2割が社会人。郵政公社の幹部候補生	8.1	AM9
8.2	国際急送便、民間に対抗へ“官官連合”。郵政公社、米中韓などと協定	8.3	MM1
8.4	特定信書便参入3社許可	8.5	NM5
8.5	郵便局も環境対策。郵政公社、やっと民間企業並に	8.5	AM11
8.7	普通郵便局、局長任期、3年に延長。郵政公社、役所人事から脱却	8.7	NM7
8.8	郵政公社の小包拡大路線。採算悪化の危機はらむ(ニュースなるほど)	8.8	NE3
8.12	一般職に10万人応募。郵政公社初の採用試験36倍	8.13	TM8
8.12	新型小包サービス、全国展開へ。A4なら約200枚。郵政公社10月中旬から	8.13	YM2
8.14	(「小泉」を問う／構造改革はいまー③)郵政民営化／中身示さず政争に。「公社は民営化への第一歩だ」小泉首相	8.14	MM5
8.20	業務効率化面も目標達成できず。郵便、昨年度実績評価	8.21	YM2
8.22	郵政事業の評価、業務効率性など2項目が未達成	8.22	AM9
8.25	郵政公社、制服にも“改革効果”。入札条件緩和、予想の半値以下に	8.26	AM9
8.27	郵政公社「サービス変化なし」85%。民営化支持派は劣勢。民間会社調査	8.28	MM3
8.27	郵政公社が“成果手当”。小包・DM獲得でポイント。営業職対象	8.28	TM1
8.29	郵政公社のコール市場参入、年明け以降に。システム整備に時間	8.29	NM7
8.29	マル優課税漏れ／返却求め個別訪問へ。郵政公社、9月から、1万9000人対象	8.30	YM9
9.4	郵貯、東京三菱とも提携。ATM、主要銀行と接続終える	9.5	NM7
			AM11
9.5	東京都心6区、配達均一料金。バイク急便	9.6	AM11
9.5	簡保優遇、廃止求める。米保険業界、USTRに書簡	9.6	NE2
9.6	民営化郵便局に役所の出先機能。竹中金融相	9.7	TM3
9.17	簡保8施設を廃止。郵政公社、赤字・老朽化で整理	9.17	AE1
9.17	簡保「定期付き終身」発売。年明けにも、保険料割安。民間の反発必至	9.17	NM1
9.17	郵政公社、役員報酬を一律1.9%減	9.18	AM11
9.17	「かんぽの宿」8カ所廃止へ	9.18	YM10
			NM7
9.17	簡保「定期付き終身」販売、生保協会が「断固反対」	9.18	NM7
			YM10
9.17	民間競合の簡保新商品、約款変更し発売方針。郵政公社	9.18	AM11
			YM10
9.18	郵政公社、監査本部を廃止。県組織に業務移管。余剰1000人営業部門へ	9.18	NM7
9.19	「簡保資産は激太り」。生保協会長、新商品に強く反対	9.20	NM4

2003 年

9.20	日本・韓国・中国・アジア、「ふるさと便」アジア版構想、郵政公社、特産品ネット販売	9.20 AM8
9.24	簡保新規契約8月14. 5%減	9.25 NM7
		YM10
9.24	郵政公社1000人配転。来春めど総裁方針	9.25 TM1
9.24	郵政公社、資本金1兆3000億円。4月発足時。過小資本状態浮き彫り	9.25 YM11
9.25	郵政公社、佐川と提携。メール便を配達。ヤマトに対抗、佐川、信書も視野	9.25 NM1
9.25	郵政公社、資本金は1兆2600億円。『郵便』5700億円の債務超過	9.25 TE2
9.25	政府債務、6月末25兆円減。国民負担は実質最高に。郵政公社に振り替わる	9.26 NM5
9.26	郵政民営化後の経営形態「3案以外も検討」、総務相	9.26 NE2 AE2
9.26	大口顧客への営業強化。郵政公社が販促手当	9.26 YM2
9.26	郵政公社、自己資本比率0. 3%。貸借対照表確定。郵便5782億円債務超過	9.27 AM11
9.26	郵貯と簡保、含み益を確保。四半期の運用状況発表	9.27 AM11
9.28	郵政公社、業務拡大より民営化が先決（社説）	9.28 NM2
9.28	郵貯・簡保資金、中小企業に融資。民主が郵政事業改革案	9.29 NM2
9.29	郵政公社、誕生から半年、民営化意識、拡大策急ぐ。批判承知で新商品攻勢「既成事実」狙う。郵貯・簡保、前途厳しく	9.29 NM3
9.29	特定信書便事業、4社の参入許可。郵政行政審が答申	9.30 NM5
9.29	500円「速達小包」、ポストから全国へ。郵政公社、来月14日から	9.30 AM10
9.30	郵政公社、発足半年、民営化備え、攻める。事業次々拡大、銀行、生保は反発	9.30 YM11
9.30	「郵政改革向け失敗許されぬ」。生田公社総裁が講演	10. 1 AM11
10. 1	「郵政企業」初の解散。総合資材サービス、公社が一括発注廃止	10. 2 NM2
10. 2	郵政ファミリー企業解散。「総合資材サービス」、公社、調達コスト削減	10. 3 YM8 TM3
10. 6	郵政公社、管理部門縮小。1000人「営業」へ	10. 7 YM2
10. 7	2002年度、郵便、赤字転落。2年ぶり。書留・速達が減少	10. 8 AM9 NM5
10. 8	郵政公社新商品の是非巡り“火花”。諮問会議議事要旨	10. 9 NM5
10.12	郵政公社／これ以上の肥大化は必要ない（社説）	10.12 YM3
10.13	（2003衆院選／政策を語る－1－）額賀福志郎自民党政調会長／郵政は民営化が前提	10.13 NM2
10.13	国債、郵政公社、直接引き受け。財務省検討、安定消化狙う。郵政公社は反発へ	10.13 NM1,3
10.14	郵政公社が「定期付き終身保険」。民間生保の主力と競合。本来に役割逸脱との批判も（大手町博士のゼミナール）	10.14 YE5
10.15	郵政公社、本社の係長廃止。500ポスト対象、1月めど	10.15 AM11
10.15	郵政公社の組織改革、業績評価を人事に連動	10.16 AM11
10.15	日本郵政公社・生田総裁「郵貯・簡保廃止難しい」「肥大化せず健康体で」。管理部門縮小など発表	10.16 NM5
		AM11 YM9
10.21	窓口で暗証番号確認。郵政公社、検討。盗難通帳問題で	10.22 NM1
10.26	時間内配達地域、台湾などに拡大。郵政公社、来月から	10.26 NM3
10.28	簡保契約件数9月13. 6%減	10.29 NM1
10.31	郵貯・簡保、民営化後の受け皿、「非市場性国債」を検討。財務省	10.31 AM3
10.31	全通、郵政公社労組に名称変更。来年6月から	10.31 AE2
11. 3	郵政公社バイト、給与3ランクに。時給格差、最大190円。マック、お手本	11. 3 AM3
11. 6	米、簡保新保険に「懸念」。民業圧迫、摩擦にも。通商代表部会見	11. 7 YE2
11. 6	USTRが郵政公社を批判	11. 7 NE2
11. 7	郵政公社来春入社予定総合職55人中、半数近く辞退。郵政民営化論議で将来不安？定追加採用はせず	11. 7 TM1 NM7
11.11	省庁別財務諸表作成、今年度から。財務省要請。郵政公社も対象	11.11 NM5
11.11	投資顧問会社を郵政公社が募集。郵貯・簡保の運用委託	11.11 AM13
11.12	簡保の定期付き終身、「実態は医療保険」生保反発。欧米勢と摩擦再燃も	11.12 NM7
11.12	総務省、郵政公社の新保険認可へ。生保業界、米は反発	11.13 YM1

郵政事業民営化

2003 年

- 11.14 民営化準備？官業肥大？簡保新保険、きょうにも認可。郵政公社、将来像見えず 11.14 AM11 NM7
- 11.14 総務省、『終身簡保』を認可。民業圧迫、米も問題視、協議へ 11.15 TM1 NM3 AM2,11
- 11.14 「2007年郵政民営化」明記。自公合意案まとめ。「年金国庫負担2分の1」も 11.15 YM2
- 11.15 新簡保認可／郵政の民業圧迫が一段と進む（社説） 11.15 YM3
- 11.16 簡保の新商品に異議あり（社説） 11.16 NM2
- 11.17 郵政公社の財務分析／苦しい郵便事業。民営化、収益力向上カギ。ドイツ証券東京支店チーフエコノミスト・水野温氏（けいざい講座） 11.17 YM8
- 11.17 簡保の新商品、米が撤回要求。日米保険協議「民業を圧迫」 11.18 NM5
- 11.18 公的金融、問われる改革／郵政・道路公団民営化論議の死角。将来の国民負担増加も。景気対策のため肥大化 11.18 AM13
- 11.18 郵政公社の業務拡大、諮問会議で是非論議。「民業圧迫」との批判受け 11.19 NM7
- 11.19 簡保新規契約20%減。郵政公社、“初の中間決算”。総裁、新型保険批判に反発 11.20 TM1 NM5 YM9 AM11
- 11.23 （けいざい読解解説）巨大・郵政、民営化のハードル。「小さ過ぎる」悩み随所に 11.23 NM3
- 11.27 小包配達遅れれば罰金。郵政公社、委託業者のサービス向上 11.27 NM7
- 12. 2 郵政公社73郵便局、局舎賃借料4億円過払い 12. 3 AM38
- 12.11 「サンクス」などにも郵便ポスト。郵政公社、年内から。狙いは小包 12.12 NM4
- 12.12 郵便局に町役場支所。高知の東洋町 12.13 NM5
- 12.17 郵政公社に成果主義賃金。来年4月導入提案。年収差最大20%。国家公務員で初 12.18 TM1
- 12.18 郵便局で投信販売解禁へ、通常国会に法案。総務省 12.18 AM1
- 12.19 「郵便局で投信」法案遅れも 12.19 NE2
- 12.19 郵便局の投信販売『民営化道筋後に』麻生総務相 12.20 TM9
- 12.19 利子100倍、ATM「小口貯金」預け入れ、郵政公社が年内で停止 12.20 TM9
- 12.26 郵政公社が能力給導入 12.27 NM5 AM8
- 12.27 郵便局の投信販売、「2005年度500局」最終調整。上限額など制限検討も 12.27 AM8

2004 年

- 1. 1 メール便配達、郵政公社、日通から受託。ヤマト運輸との2大配達体制に 1. 1 NM5
- 1. 4 簡保新商品をあす発売 1. 4 NM3
- 1. 5 郵貯残高12月末、0.4%増 1. 6 NM5
- 1. 5 定期付き終身簡保版を発売。郵政公社 1. 6 NM5
- 1. 6 郵便局の投信販売解禁、通常国会に法案提出。総務省方針 1. 7 NM2
- 1. 6 （2004年日本の選択／キーパーソンに聞く⑤）郵政事業改革／生田正治郵政公社総裁。郵便局網を多面に活用 1. 6 NM5
- 1.17 郵政公社、特定郵便局長、降格の対象に。「成果主義」聖域なし 1.17 NM4
- 1.21 郵貯・簡保の廃止無理。郵政公社総裁「郵便局網維持できず」 1.22 NM5 MM9
- 1.22 簡保新契約12月17.5%減 1.23 NM4
- 1.23 定型定額の国際速達、2月2日から開始。郵政公社、試験的に 1.24 YM8
- 1.27 総務省、郵便事業で日本通運を許可。次の焦点「一般信書」 1.28 AM9 NM5
- 1.28 郵貯、限度額破り許さず。1000万円超過分で国債購入、年度内に強制措置 1.28 TM1,9 AM4 NM1
- 1.28 ニュー福祉定期郵貯、新規受け入れ、来年2月まで 1.29 AM8
- 1.29 固定資産税証明書、郵便局で取得可能に。総務省、4月から 1.29 NM7
- 2. 3 簡保8施設、建設中止。郵政公社、整備計画全面見直し。既存施設も半減へ。剰余金減、赤字支えられず 2. 4 TM9 NM7
- 2. 6 郵便局での投信販売法案、今国会提出、微妙に。金融界反発 2. 6 NM7

2004 年

2. 6	(綱渡り)国債管理政策―中―) 郵政民営化の脅威／受け皿機能、縮む公算	2. 6 NM5
2. 6	郵政公社が中国に拠点。今秋にも。国際市場に本格参入	2. 7 TM1
2.12	郵貯・簡保の地方還流案、全通が独自策。全銀協の廃止案に対抗	2.13 TM8
2.12	モデル郵便局、カイゼン空回り？埼玉・越谷、トヨタ社員が常駐指導、放置・誤送多発	2.12 AE15
2.13	1 2月の郵便物1. 8%減	2.14 NM5
2.16	郵便局で投信販売に「反対」。全銀協など意見書	2.17 AM9
2.18	郵政公社総裁、郵便局網見直し初言及。全国一律サービスは維持	2.19 TM3 NM5
2.18	郵政公社、4月から執行役員制	2.19 NM9
2.20	郵貯10年後は35%減。資金量150兆円規模に。総裁見通し	2.21 TM9
2.20	郵便局の「意義」、諮問会議で対立。郵政公社総裁、役割十二分にある。田中直毅氏、時代の要請に反す	2.21 NM5
2.21	郵政公社の今期郵便事業、黒字へ。利益100億円の大台へ	2.21 NM5 TM9
2.23	簡保版「定期付き終身」、発売1カ月、静かな出足。新規契約2万8000件	2.24 NM7
2.23	職員住宅家賃、50%値上げへ。郵政公社、4月から	2.24 TM3 NM7
2.23	特定信書便、2カ月で認可。総務省が短縮	2.23 NM3
3. 1	郵便貯金残高横ばい	3. 2 NM5
3. 2	全国5000郵便局にジュース自販機	3. 3 YM13
3. 5	郵便局の投信販売先送り。総務省、法案提出を断念。金融庁が難色	3. 5 NM5
3. 5	モデル郵便局、トヨタ方式採用。生産性20%向上	3. 6 NM5
		AM11 YM10
3. 6	郵政公社の自動車保険、三井住友海上が一括契約。集配用車両14万台対象。団体向けで最大	3. 6 NM1
3. 8	郵便局投信販売法案、今国会への提出断念。金融庁と調整つかず	3. 9 AM11
		NM7
3.10	郵政公社／“駆け込み肥大”の見送りは当然(社説)	3.10 YM3
3.12	郵貯・簡保「10年で3分の2に」。生田郵政公社総裁、大幅事業縮小は否定	3.13 MM11
3.15	郵貯カード利用、1万6000店に拡大。コンビニ取り扱い13社に	3.13 NM4
3.17	郵便事業、100億円の黒字へ。2003年度、経費削減で赤字脱出	3.18 NM9
		AM11
3.17	郵貯、簡保、2013年度末に117兆円減	3.18 NM5
3.17	2003年度の郵貯の利益は2兆円。簡保との事業統合発表	3.18 TM3
3.18	郵貯資金量、10年後は150兆円	3.18 NM9
3.18	国債への強制転換発実施。郵貯限度額超の2人	3.19 TM9 NM5
3.22	郵政公社、自前の郵送会社検討。長距離便、子会社化図る	3.23 TM1
3.23	メール便、ヤマト、個人向け参入。まず2600カ所で受け付け。郵便より料金安く	3.23 NM1,3
3.28	郵政公社発足から1年、2007年民営化へ正念場。郵便事業は黒字に転換、郵貯・簡保は右肩上がり	3.28 NM7
3.29	特定信書便を4社に許可。郵政行政審議会答申	3.30 NM7
3.29	郵政公社、顧客情報管理など問題。金融庁、立ち入り検査で指摘	3.30 TM1
3.29	郵政公社、社宅など建設の借金、1900億円繰り上げ償還。金利分2700億円節約	3.30 NM2
3.30	生田郵政公社総裁インタビュー／郵貯・簡保、縮小方向に。特定郵便局、聖域にしない	3.30 NM7
3.30	郵政公社1年、お役所体質脱却中。成果、郵便事業100億円黒字。難題、サービス維持と効率化	3.30 YM9
3.30	(官と民のはざまで／郵政公社の1年―1―) 阻まれる「膨張」／「国営」自立へ足かせ。国内外、弱まる競争力	3.30 AM11
3.31	(官と民のはざまで／郵政公社の1年―2―) 脱お役所意識／市場にらみ工夫の機運	3.31 AM9
4. 1	日本の牛肉禁輸、最優先。米貿易障壁報告、簡保の民間圧迫指摘	4. 2 YE1
4. 1	郵政公社が貯蓄相談を廃止。民営化路線で業務縮小。全国56カ所、無料の窓口。魅力だったF Pの中立性、消費者には大きな痛手	4. 1 TM11
4. 1	(官と民のはざまで／郵政公社の1年―3―) 効率化の途上／手つかずの特定郵便局	4. 1 AM11

2004 年

4. 1 郵貯残高、4年連続の減少 4. 2 MM11
4. 2 (官と民のはざまで／郵政公社の1年ー4ー) 松原聡東洋大教授、総裁も民営化明言せよ。村井仁自民党郵政改革特命委員長、議員軸に国民的論議を 4. 2 AM11
4. 3 郵貯残高4年連続減 4. 3 AM9
4. 3 (官と民のはざまで／郵政公社の1年ー番外編ー) 「お手本」ドイツポスト／民営化、サービス工夫。委託局に切り替え。給与は成果主義。 4. 3 AM10
4. 5 郵便局内に町役場。高知・東洋町、全国初、支所が移転 4. 5 NE14
4. 5 郵政公社総裁、投資自由化求め、公社法改正要請。民業圧迫、新たな火種に 4. 6 AM9 MM2
4. 5 資本強化に17兆円必要。郵政公社、民営化後新会社で試算 4. 6 TM3
4. 5 米生保協会が書簡、簡保抜本改革を首相に求める 4. 7 NM7
4. 6 公社、2年目の試練／郵政民営化、雇用に難題。郵便事業で反攻、職員28万人の重圧。郵貯・簡保、薄れる役割、魅力も資金も先細り。諮問会議報告素案、全国均一サービス維持 4. 6 NM5
4. 6 郵政公社投資、自由化へ。政府検討、民営化前に競争力 4. 6 AE2
4. 6 郵便局のFC制検討。民間委託で収益力向上。諮問会議報告素案 4. 7 NM5
4. 8 郵貯利子税を源泉徴収せず、所得税法源泉徴収義務違反。郵政公社 4. 9 AM37
- 4.17 (郵便局はどう変わる？インタビュー編ー下ー) 郵政公社・生田正治総裁に聞く／「利便性維持に3事業必要」。局の配置、都市部で重複感 4.16 TM9
- 4.21 郵政公社・法人化の国立大、損保、新市場で争奪戦。自動車保険頭打ち、危機感 4.21 AM9
- 4.21 米商議所も簡保縮小を要請 4.22 NE2
- 4.22 簡保新契約、5年連続減。2002年度17%減 4.23 NM7
- 4.23 (越谷郵便局発) 業務見直し…誤配・放置、ミス次々。「トヨタ方式」大丈夫？改革、現場に不満も 4.23 AM37
- 4.27 郵政公社の賃上げ1.4%。戦後初の自主決着 4.28 NM4
- 4.27 郵政民営化、自民部会が反対確認。「公社改革」独自案作成へ 4.28 TM2
- 4.27 コンビニで郵便小包。郵政公社、日通と組む。まずam/pmなど2社 4.28 NM1,4
TM3
- 4.30 郵貯・簡保・年金、連結貸借対照表。同友会がまとめる。600兆円のうち官業に200兆円 4.30 NM3
5. 6 郵貯残高、2カ月連続減少 5. 7 NM7
- 5.10 郵貯ATM削減へ。利用少ない駅前など 5.10 AM1
- 5.10 郵貯の貸出業務参入、「地域金融機関の脅威に」。自民特命委で地銀協会長ら規模縮小求める声続々 5.11 NM7
- 5.11 郵政公社、今年から半期決算。年度決算も前倒し発表へ 5.12 YM3
- 5.13 ヤマト運輸メール便、セブンイレブンで。ミニストップなど2社でも。郵政公社陣営に対抗 5.13 NM1
- 5.14 ヤマト運輸、メール便拠点31万カ所。年度内拡大。郵便ポスト数上回る 5.15 TM9
- 5.17 特定郵便局、7000局が常勤職員削減。非常勤活用。経営効率改善へ 5.18 TM3
- 5.18 (論陣・論客／郵政民営化) 生田正治氏・日本郵政公社総裁、他の改革見て効果的に。竹中平蔵・経財金融相、国民ニーズ見極め必要 5.18 YM12,13
- 5.18 郵便局長3分の1に削減も。郵政公社検討。特定局「世襲」見直し 5.19 TM1
- 5.19 郵貯カード、再発行有料化へ。9月から。民間並み1000円を検討 5.19 AM9
- 5.19 郵政公社、自己資本比率1%に。2004年3月期。郵貯純益1兆1000億円 5.20 AM3
- 5.23 郵便利益200億円超す、2003年度。公社化、赤字から転換 5.24 TM3 YM9
- 5.25 郵政公社、3月期決算、最終益2兆3020億円。郵貯の運用黒字膨らむ 5.26 NM2,9
TM8 AM12 NM1
- 5.25 巨艦・郵政、際立つ「非効率」。3事業／競合企業に見劣り、利益水準、郵便はヤマトの半分。財務基盤／資本比率、大手銀と格差。経費削減／ファミリー企業抜本見直し必要。民営化への課題浮き彫り 5.26 NM3 YM9
- 5.27 郵政2兆円黒字／民営化とは何かが曖昧だ(社説) 5.27 MM5
- 5.27 郵政公社、中国と物流提携。来月締結へ。国際事業の第一歩 5.28 TM3
- 5.28 郵政民営化、全国均一サービス維持を強調。生田郵政公社総裁、読売国際経済懇話会で講演 5.29 YM1

2004 年

- | | | |
|------|---|------------------|
| 5.31 | ゆうパック、コンビニで。メール便、全国取次店。郵政公社、ヤマト運輸、郵便と宅配、牙
城攻略戦（核心） | 5.31 TM3 |
| 5.31 | 郵政公社、裏金1億。出張経費、旅行社から還流 | 5.31 ME9 |
| 5.31 | 郵政公社 v s. ヤマト、コンビニの陣。ヤマト、メール便参入、個人を開拓。郵政公社、2
社で「ゆうパック」開始 | 6. 1 NM3 |
| 6. 2 | 郵政公社 V S ヤマト運輸、コンビニに店舗争奪戦本格化。「ゆうぱっく」も取り扱い | 6. 2 TM9
YM11 |
| 6. 3 | 国際スピード郵便、中国向けを拡大。郵政公社、重量制限を緩和 | 6. 3 NM5 |
| 6. 3 | 簡保改革要求を「拒否」、政府方針。規制改革報告書で明らかに。米側の反発必至 | 6. 3 TE1 |
| 6. 3 | 自前で郵便運送子会社、来年度にも設立。郵政公社総裁講演 | 6. 4 NM4 |
| 6. 9 | 郵政公社、中国との郵便協定、流れる。国際戦略、出足つまづく | 6.10 NM7 |
| 6.18 | 簡保経常益、732億円減額修正。郵政公社の前期、「利子」に誤り | 6.18 NE2 |
| 6.29 | 小包強化へ宅配便見習います。郵政公社が制度導入へ | 6.30 TM3 |
| 6.30 | 郵政公社、小包事業が黒字転換。取扱個数57.8%増。2003年度決算 | 7. 1 NM5 |